

(公印省略)

21久保第4028号
平成21年9月8日



関係機関・団体の長 殿

福岡県久留米保健福祉環境事務所長

新型インフルエンザ情報の配布について

日頃から保健・医療・福祉行政の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、管内の保健・医療・教育関係機関・団体の方から、新型インフルエンザに関する情報提供を要望される声が複数寄せられましたので、取り急ぎ別紙のとおり作成し送付します。

業務にご活用くださいますようお願いいたします。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 毛利康茂
新型インフルエンザ対策委員会
会長 丸山 泉

新型インフルエンザ情報



平成21年度 第1号 平成21年9月8日(火)発行

発行元 福岡県久留米保健福祉環境事務所 電話 0942-30-1054

1 インフルエンザの全国的な流行

厚生労働省は、感染症発生動向調査で平成21年第33週(8月10日～16日)のインフルエンザ定点あたりの報告数が1.69と、流行開始の目安1.00を上回ったため、8月21日にインフルエンザの流行シーズンに入ったと発表しました。第35週(8月24日～30日)は、全国2.52、福岡県3.08、全国1位は沖縄県の36.0で警報レベル(30以上)です。県内では糸島保健福祉環境事務所と早良保健所管内で注意報レベルの10を越えました。ウイルスサーベイランスによると、流行しているインフルエンザのほとんどが新型インフルエンザ(A/H1N1)とされています。集団感染の報告は、第35週(8月24日～30日)1,330件で前週の約1.5倍となりました。

○新型インフルエンザによる死亡や重症者

8月15日に国内で初めて、沖縄県の慢性腎不全で人工透析を受けていた57歳男性が、新型インフルエンザで死亡しました。9月5日までに全国で合計10例(疑いを含む)の死亡が報告されており、30歳代～80歳代で、糖尿病、慢性心疾患や呼吸器疾患、がん等の基礎疾患ある方々でした。

重症者については、8月12日に、大阪府の29歳男性が肺炎で人工呼吸器を使用した例が報告されました。9月5日までに合計28例(人工呼吸器使用や脳症)の報告があり、0歳～60歳代で、男性16名、女性12名、喘息や糖尿病、慢性腎不全などの基礎疾患ある方は17名でした。

○新型インフルエンザのワクチンについて

9月5日に、新型インフルエンザワクチン接種の厚生労働省「素案」が発表されました。それによると、インフルエンザ患者の診療に従事する医療従事者(救急隊員を含む)、妊婦、基礎疾患を有する者、1歳～就学前の小児、1歳未満の小児の両親の順に優先的に接種開始し、小中高校生、65歳以上の高齢者も優先的に接種が望ましいとされています(計約5400万人)。国内ワクチンは10月下旬以降順次出荷され、輸入ワクチンは早ければ12月下旬以降使用可能と考えられています。

2 久留米二次医療圏(久留米市、小郡市、大刀洗町、うきは市、大川市、大木町)の状況

久留米二次医療圏では、8月12日に初めて久留米市内の高校で集団感染が確認されました。

7月下旬に国の方針が変更されるまでは、新型インフルエンザと診断された場合、医師から全例届出が保健所に出されていましたが、現在は、学校や塾、社会福祉施設等における集団感染や、重症で入院した例について把握する対応に変わりました。第35週の感染症発生動向調査で定点あたりのインフルエンザ患者報告数は、福岡県久留米保健福祉環境事務所2.25、久留米市保健所1.45となっています。

3 久留米保健福祉環境事務所の新型インフルエンザ対策

当所は、久留米市保健所や管内市町を始め、保健、医療、教育、福祉の関係団体や施設と連携を取りながら、新型インフルエンザ対策の推進を図っており、次のような会議や研修会を行っています。

また、関係機関や団体でもそれぞれ、住民へ新型インフルエンザやその感染拡大予防のための正しい知識の普及、施設における感染拡大防止対策などに取り組まれています。

【 関係機関等との会議 】

- 8月21日 管内市町関係者会議（久留米保健福祉環境事務所管内市町の保健・総務担当）
市町の保健・総務担当者と住民への情報提供などについて情報交換を行いました。当所から医療機関等への働きかけの状況についても、市町へ情報提供をしてほしいとの意見がありました。
- 8月25日 久留米二次医療圏の新型インフルエンザ医療体制に関する会議
（久留米市保健所、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、大学、消防、警察等）
新型インフルエンザの患者への医療機関における対応、重症度に応じた診療体制の整備の必要性、集団感染の早期発見・拡大防止の取り組み等の情報交換を行いました。同時に、新型インフルエンザの患者や周囲の方への説明チラシ案（医療機関用）を配布し、医療現場での活用をお願いしました。
- 8月26日 管内教育関係者会議（久留米保健福祉環境事務所管内の教育委員会、教育事務所）
新学期を控えて、管内各市町教育委員会及び北筑後・南筑後教育事務所の取り組み体制、保健所との連携強化などについて情報交換等を行いました。
新型インフルエンザの患者や周囲の方への説明チラシ案（学校用）を配布し、同時に説明チラシ案（医療機関用）も同時に配布し、医療機関における取り組みも併せて紹介しました。

【 校長会や教職員への説明 】

- 8月26日の教育委員会等との会議の結果を踏まえ、また、県（保健衛生課）から学級閉鎖等の要請基準が出されたことを受け、当所は学校における新型インフルエンザ対策のポイントなどについて情報提供を行いました。説明チラシ案（学校用）を配布し、インフルエンザに罹患した児童・生徒等への指導に活用するよう依頼するとともに、説明チラシ案（医療用）も紹介しました。また、インフルエンザ患者発生時等の学校医とのすみやかな連携についても依頼しました。
- 8月28日 大木町の教職員の研究会で説明。小郡市の校長会で説明。
- 9月 2日 うきは市の校長会で説明。
- 9月 3日 大刀洗町の校長会で説明。（大川市の校長会で説明 9月29日予定）

【 医療機関や社会福祉施設における施設内感染対策研修会（予定） 】

- 新型インフルエンザの医療機関における院内感染の防止、社会福祉施設における施設内感染の防止のため、当所は、それらの管理者及び担当職員を対象に研修会を開催する予定です。
- 9月 8日 管内の社会福祉施設（保育所を除く）に対する施設内感染対策研修会
- 9月14日 久留米二次医療圏の全病院に対する院内感染対策研修会（久留米市と共催）
- 9月15, 18日 久留米二次医療圏の全診療所に対する院内感染対策研修会（同上）

（その他）

- 9月 4日 福岡県保健所長会主催の新型インフルエンザに対する4～7月の保健福祉環境事務所の取り組みの紹介と意見交換（吉塚合同庁舎）
保健所職員、市町村、医療関係者など約160名が参加し、当所を含め4保健所が取り組みを発表しました。当圏内の病院管理者の方からのご意見をはじめ、活発な意見交換が行われました。

<編集後記>

新型インフルエンザについては、情報が刻々と更新されますが、今回は、当所の取り組みを通じて、地域における新型インフルエンザ対策の一端を紹介させていただきました。みなさまの業務にご活用いただければ幸いです。

